



1. 全員で力をあわせて、よ～いしょ！ / 2. ヨーイドンッ！合図とともに勢いよく走り出す / 3. 長い棒を持ってコーンをくるり。遠心力で、転んじゃう～！
/ 4. 流行の楽曲に合わせて全校児童 11 人がダンスを披露

「最後の運動会、元気いっぱい」

5月22日㊸、霊山地域の石田小学校で運動会が行われました。来年度から掛田小と統合になる石田小にとっては最後の運動会です。コロナ前は地域の人も加わり、にぎやかに運動会をしていた石田小。今年は3年ぶりに地域の人たちも招いての開催に漕ぎ着けました。あいにくの空模様で体育館での開催となりましたが、「かえって近くで子どもたちのがんばりを見られてうれしい」と地域の人たちからは好評だった様子。近くに住む佐藤喜美子さんは「最後の運動会に来られてよかった。統合になってもがんばってほしい。」と児童に温かい拍手を送っていました。



市長コラム 第43回

「電車の思い出」

須田博行

地震で被災し不通となっていた阿武隈急行線が6月27日に全線再開します。この2カ月半、阿武急の公共交通としての重要性を身に染みて感じたところです。復旧に携わっていただいた全ての関係の方々に心から感謝申し上げます。

さて鉄道は、通勤や通学、買い物など毎日の生活に欠かせない身近な交通機関です。また旅行や出張などで移動する際にも利用することから、思い出深い乗り物として愛着を持っているファンが多くいます。実は、私もその一人です。車窓を流れる景色をボーと眺めるのが好きで、いつも眠るのがもつたないと思って乗っています。

私が電車を好きになったきっかけは、当時、母校である栗野小学校の前を走っていたチンチン電車でした。昭和46（1971）年に役割を終えたのですが、どこかに出かけるときいつも乗って行ったりと記憶しています。小学校も中学校になると、一人で乗って梁川や

保原の街に出かけたり、福島の中合にも行った覚えがあります。乗車すると、混んでいるとき以外はシートに膝を載せて窓の外を見ていました。特に鉄橋を渡るとき「ゴトンゴトン」という音と、真下を流れる川面（かわも）を見るのが好きで、阿武隈川に架かる鉄橋（旧伊達橋）を渡りたくて、よく福島へ出かけていました。

チンチン電車が廃止となった17年後の昭和63（1988）年に阿武隈急行線が全線で開業しました。私にとっては、あのチンチン電車が復活したとの想いで梁川駅で行われた開通式典を見ていたのを覚えています。人口減少と車社会の到来、度重なる自然災害等により阿武急の経営は厳しい状況が続いていますが、私たちにとってなくてはならない交通機関です。また、来訪者の足としても、鉄道ファンの心をつかむ存在としても、これからもみんなで乗って、盛り立てていってほしいと思います。